

「Program 5 国際フードフェスティバル」 相づち(つつこみ)を考えよう！

本単元で育成する資質・能力

チャレンジ精神, 他者理解

単元について

この単元では、中学生が実際に体験しそうな「国際フードフェスティバル」に行き、その後、インド出身の友人の家をたずねる設定になっている。そして、国際理解、異文化理解、グローバル社会の視点が盛り込まれている。

この単元までに、Program 2 では、be 動詞を使って自分のことを表現する文章(I am～.)を習い、Program 3 では、一般動詞を習った。生徒たちは、自分の名前と好きなものやスポーツなどを表現できるようになってきている。

そこで、この単元では、This / That / He / She is～ を理解させ、Is this / that / he / she を使って、質問をしたり答えたりさせていく。そして、単元の最後には、教科書の英文に対して相づちをすることを目標とする。そして、実際に会話をしていく時に相づちをすることで会話が続くようにさせていくことができる力を養う。

生徒の実態

1 年 3 組の生徒は、何事にも意欲的な生徒が多く、ペア活動や音読などを意欲的に取り組む。また、多くの生徒が A L T の言葉をよく聞き、反応する。7 月末に行った生徒アンケートでは、「英語の授業が好き」と肯定的に答えた 1 年 3 組の生徒は 94.3% (4 月 79.1%) だった。また、「英語科の授業では、友達や先生と積極的にコミュニケーションをはかろうとしている。」と肯定的に答えた生徒は、4 月 85.3 % から 7 月末は 97.1% になった。授業の中で、自分の思いを英語で話す場面を多く設けているため、生徒の意識も変わってきている。

しかし、徐々に英語がわからなくなっている生徒が増えているため、手だてを考えながら指導していく必要がある。

単元の指導

- (1) 気持ちや状況を表現できるように音読する。
- (2) This is～. That is～. の文構造を理解する。
- (3) 疑問詞 Where を用いた疑問文の構造を理解する。
- (4) He (She)… の文構造を理解する。
- (5) 相づちを考えることができる。

単元の目標

- This is～. That is～. の文構造を理解する。【知識・理解】
- 疑問詞 Where を用いた疑問文の構造を理解する。【知識・理解】
- He (She)… の文構造を理解する。【知識・理解】
- 間違いをおそれずに相づちを考えようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】
- 相づちを言うことができる。【思考力・判断力・表現力等】

単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
① 相づちを考えようとしている。	① 気持ちや状況を表現できるように音読することができる。 ② 相づちを表現することができる。	この単元では評価しない。	① 疑問詞 where の疑問文とその答え方の知識を身に付けている。 ② This is～. That is～. He (She)… の用法についての知識を身に付けている。

本単元で育成しようとする資質・能力

本校が身に付けさせたい7つの力	〈高い志〉
	〈知識〉
	〈振り返る力〉
	〈先を見通す力〉
	〈チャレンジ精神〉 ○ 今まで習った英語を使って、相づちを考えて会話を続けることができる。
	〈粘り強さ〉
	〈他者理解〉 ○ 友達の相づちを知って、自分の会話に生かすことができる。

指導と評価の計画

(全10時間)

次	学習内容 (時数)	評価規準 (評価方法)	資質・能力の評価 (評価方法)
一	○be 動詞 is の用法を理解する。 (This/ That is～. Is that～? Yes, it is. No, it isn't.) ・ P50 「Basic Dialog」を音読する。 ・ This/ That is～. Is that～? Yes, it is. No, it isn't. を練習する。 ・ 単語や語句の意味を知る。	エの② (行動観察 後日ペーパーテスト)	
二	○P51 の本文を理解して音読をする。 ・ P51 の英文の内容を把握する ・ P51 の英文の場面や気持ちを考える。		

	・ P51 の本文を音読する。		
三	○P51 を 17 秒以内に読むことができる。 ・ P50 のリスニングをする。	イの① (後日音読テスト)	
四	○疑問詞 where の疑問文とその答え方を理解する。 ・ P52 「Basic Dialog」を音読する。 ・ Where ~? の質問の仕方と答え方を練習する。 ・ 単語や語句の意味を知る。 ・ P52 のリスニングをする。	エの① (行動観察 後日ペーパーテスト)	
五	○P53 の本文を理解する。 ・ P53 の英文の内容を把握する ・ P53 の英文の場面や気持ちを考える。 ・ P53 の本文を音読する。		
六	○P53 を 16 秒以内に読むことができる。 ・ P52 のリスニングをする。	イの① (後日音読テスト)	
七	○He, she の用法を理解する。 ・ P54 「Basic Dialog」を音読する。 ・ He/ She is~. Is he / she~? Yes, he is. No, he isn't. を練習する。 ・ 単語や語句の意味を知る。 ・ P54 のリスニングをする。	エの② (行動観察 後日ペーパーテスト)	
八	○P55 の本文を理解する。 ・ P55 の英文の内容を把握する ・ P55 の英文の場面や気持ちを考える。 ・ P55 の本文を音読する。	エの② (行動観察 後日ペーパーテスト)	
九	○P55 を 15 秒以内に読むことができる。 ・ P54 のリスニングをする。	イの① (後日音読テスト)	
十	○相づちを考えることができる。 【本時】	アの① (行動観察) イの② (作品)	チャレンジ精神 (活動の観察) 他者理解 (活動の観察)

本時の学習 (10/10 時間)

(1) 本時の目標

相づちの例を参考にし、英文を見ながら相づちを考えることができる。

(2) 本時の学習展開

学習活動	指導上の留意事項 (◇) 「努力を要する」状況と判断した生徒への手立て (◆)	評価規準 (評価方法)	資質・能力の評価 (評価方法)
1 帯学習			
○あいさつ (全体) ○Chants ○歌 ○すらすら英会話 (ペア)	・ 元気よく歌うように言う。 ・ ペアで協力して練習させる。 ・ 相づち (単語つつこみ) を言ってみるように言う。		

2 復習			相づち（つつこみ）の例 単語つつこみ 疑問詞つつこみ 疑問文つつこみ そやな相づち ほんまかつつこみ 同じやつつこみ なんでやねんつつこみ すごいでんなあつつこみ
○相づち(つつこみ)の例を示す。			
○DVDを見て、感想を英語で考える。			
○P51～55を音読する。			
3 本時の目標を確認する。			
○目標を確認する。			
【目標】本文の内容を理解し、相づち（つつこみ）を考えることができる。			
○P51の最後の由紀の一言を考える。（個人）	・英語で表現できない場合は、補助をする。		
○考えた相づちを発表する。	・意味を考えながら音読するように指導する。		
○相づちをいれた音読をする。	・相づちを入れることで会話が続くことを理解させる。		
4 P53の相づち（つつこみ）を考える。			
○ワークシートに相づちを考える。（個人→4人班）			
○相づちを発表する。（ホワイトボード）			
○音読の方法を考える。	・場面をイメージさせて、音読を考えさせる。	アの①（行動観察）	チャレンジ精神 （活動の観察）
○P55の相づちを個人で考える。	・今までの例を参考に1つでも相づちを考えるように指導する。	イの②（作品）	
【「おおむね満足できる」状況（B）と判断する根拠】			
○つつこみの例をもとに、状況にあった相づちを1つ考えている。			
例 Great! Is she beautiful?			
【「十分満足できる」状況（A）と判断する根拠】			
○つつこみの例や友だちの意見をもとに、状況にあった様々な相づちを複数考えている。			
例 I want to see her movie. Can she dance well? Is she famous?			
【「努力を要する」状況（C）と判断する生徒への手立て】			
○わからない場合は、友だちに聞くように指示をしたり、ヒントを与えたりする。			
○班でお互いの考えた相づちを読み合う。	・よかった表現をワークシートに記入させる。		他者理解 （活動の観察）
6 本時のまとめと次時の確認をする。			
○本時のまとめ		●対話的な学習場面 考えた相づち（つつこみ）を互いに読み合い、自分のワークシートに加えたり修正したり、音読の方法を考えたりできる。	
○次時の確認			

